

まち・ひと・しごと創生総合戦略に 関する地方公共団体向け勉強会

(平成27年2月3日開催)



多摩地域の19市町（連携協定締結先8市町、他11市）から43名の職員が参加。関東経済産業局より地域住民生活等緊急支援交付金の活用についての説明、意見交換会を実施。



「郊外」としての多摩地域の役割

東京・多摩地域は、東京特別区と隣接しベッドタウンの役割を担っている。また、近県との接点も有しており、都心でも地方でもない「郊外」に位置するエリア。

⇒企業の地方拠点強化を促進する動向のもと、約420万の人口を抱える多摩地域においても、さらなる雇用の創出や、創業促進につながる取り組みが求められる。

【事例】多摩信用金庫の創業支援

約10年前から創業支援に取り組みを開始。
平成25年11月には、地域の創業支援機関のハブとなる創業支援センターTAMAを開設。

平成24・25年度の創業補助金で計228件が採択（全国認定支援機関でNo.1の実績）。

平成25年度から3ヶ年で新規創業者1,000人を目指し多摩地域の創業機運醸成と創業予定者の発掘・育成から成長促進までのトータルサポートを展開。



信金発！地域発見フェア 開催概要



全国の信金イチオシ企業が一堂に集結し販路拡大、企業間連携、物産展示・販売などのビジネスチャンスの場を提供するため、信金業界が一体となって初の全国規模フェアとして実施。

<開催日・会場>

平成26年11月12日～13日 東京ドーム

<フェアの特徴>

- 全都道府県より信金を通じ583社（616ブース）の地域イチオシ企業が出展。
- 金融庁・中小企業庁・全47都道府県等の後援により実施。
- 来場者数約33,200名（2日間合計）、商談件数約8,100件（内バイヤー商談約400件）
- 東北復興・海外発信・女性経営者・中小製造業等の支援プログラムを実施。
- 当日は約2,000名の信金職員が運営や出展者サポートに従事。
（信金らしいきめ細かいサポートを実施）
- 結果、多くの出展者から「満足」「次回以降の開催を期待する」との声を頂戴している。

